



びすけっと

252号—2024年2月—

埼玉県立小児医療センター

血液・腫瘍科

親の会 びすけっと

もっとみなさんにつながるように…

Instagram始めました！

https://www.instagram.com/biscuit_oyanokai/



🌸2023年度第1回小児がん相談支援センター患者・家族向けセミナー 「小児がんに関わる社会資源を知ろう！」

昨年9月16日(土) 標記のセミナーが開催され、webで視聴しましたので感想等をお伝えします。今年度から関東甲信越地域の小児がん拠点病院4病院の合同企画としてこのセミナーを実施することになり、第一弾として埼玉県立小児医療センターが担当したそうです。

開会のご挨拶の中で康先生からは「社会資源を利用して治療中の負担を少しでも軽くして欲しい。治療後の子どもたちの未来をより良いものにできるように生かして欲しい。」というお話があり、社会資源は私たちにとって大切なものだという印象を受けました。

講演1. 家族会を覗いてみよう 講師 駒形成美(公益社団法人 がんの子どもを守る会)

まずがんの子どもを守る会についての説明がありました。次に、親の会や経験者自身の会の紹介がありました。がんの子どもを守る会で把握している病院毎・地域毎の会は51団体、疾患別の会は10団体、経験者の会は21団体あるそうです。それぞれご自身に合った会を見つけて参加してみるといいのではないかと思います。

がんの子どもを守る会 <https://www.ccaj-found.or.jp/>



講演2. 小児がんと社会資源 講師 篠崎咲子(埼玉県立小児医療センター ソーシャルワーカー)

社会資源について具体的にお話くださいました。社会資源には制度や人的なもの、インターネットサイトなど様々なものがあります。ただし公的なものは地域や疾患、時期によって使えるものが変わってくるので、適切に情報を得ることが大切だと思いました。また、遑って申請出来ないこともあるため、必要とする方は時期を逃さないように気をつけなければなりません。

助成や支援を受けられるものとして医療費、療養費、遠隔地での治療、予防接種再摂取、慢性GVHD、妊孕性温存、奨学金、付き添いなど様々なものがあります。仕事に関して休暇や休業、その後の給付金についての話もありました。お子さんが小児がんと診断を受け病気のこと、ご家族のこと、仕事のことなど一度にたくさんのことに対応しなければならず大変ですが、細かな助成の条件が決まっていたり申請しないと受けられなかったりするため、まずはそれぞれの病院や小児がん拠点病院のソーシャルワーカーに相談して利用できる制度を確認してみるといいのではないかと思います。

注意点としては必ず最新の情報を確認することと、不確かな情報に気をつけ情報元は確かなところからということが重要だと思いました。

社会福祉資源のパンフレットがありますので、必要な方は篠崎さんまでお問い合わせ下さい。(柳戸)

次回のびすけっとは、**3/12(火)11:00～**
相談室B(2F 総合受付奥)

びすけっと連絡先：代表 柳戸 民子

〒350-2224 鶴ヶ島市町屋112-5

TEL 049-271-4708 (留守電)

e-mail yanagido@t.zaq.jp

- ※びすけっとの参加のためだけに病院に来られた場合、
- ・駐車料金は一般料金になりますので、病院外の駐車場をご利用することをおすすめします。
- ・入館時の健康チェックシートは、外来・面会用ではなく、来客・業者用をご使用ください。

※変更の場合があるため、
来る前にインスタや
LINEで確認してね。

柳戸LINE、QRコード
ラインでのご連絡もOK!



お手伝いしてくれる人、募集中!